

その他次世代育成支援対策

※本調査は平成28年6月1日現在の状況です。

市町村	2 2 東日本大震災及び原子力災害を受けて市町村が取り組んでいる子育て支援策	2 3 市町村が独自に取り組んでいる施策
福島市	1. 心理士による個別相談(1歳6か月児健診時、3歳6か月児健診時) 2. 妊婦やその家族、これから妊娠しようとする方々を対象に「福島で生み育てるために」講演会 3. 屋内遊び場(おもちゃ広場)の開設 4. 屋内遊び場(さんどパーク)の開設	
会津若松市	○被災児童生徒等就学支援事業 被災した幼児・児童生徒に対し就園支援、就学支援を行い、保護者の負担軽減を図る。 ※平成29年度は対象施設がなくなるため廃止となる ○給食食材放射線量測定業務委託事業 学校・保育所等の給食における児童生徒の食の安全・安心確保や保護者の不安払拭のために給食食材の放射性物質の検査を実施。 ○子どもを含めて内部被ばく検査を実施	○休日緊急医情報メール配信 ○不登校児童生徒の受け皿づくり ○ホームスタート事業 ○就学遠征奨励金の支給
郡山市	(1) 保育元気アップ支援事業 【内容】未就学児が外遊びで自然と触れ合う機会や運動量を増やすために、バスで県外(県内でも可)へ遊びに行く事業を行うことにより、児童の健全な育成を図る。 (2) 保育所等給食放射性物質測定事業 【内容】保育所等に放射性物質検査機器を整備し、給食提供前に市の基準(10ベクレル未満)に基づき検査を実施して、保育所児童の内部被ばく防止と保護者の不安解消に努める。 (3) 郡山市震災後子どものケアプロジェクト事業 【内容】東日本大震災後の長期的な子どもの心と体のケア並びにその保護者及び支援者のケアを行い、併せて子どもの明るく健やかな成長を促すための環境の整備を図るために、メンタルヘルスケア事業や子どもの遊びと運動に関する事業等を幅広く展開する。	
いわき市	○屋内遊び場管理運営事業 屋外での遊びに不安を持つ保護者とその子ども達が、安心して遊べる場の確保と、子ども達が天候に左右されずに、のびのびと安心して遊べる場の提供を目的として、市内2か所に屋内遊び場を整備して管理運営を行う。	○赤ちゃんの駅事業 乳幼児連れの保護者が、授乳やおむつ替え等のために気軽に立ち寄ることのできる施設を「赤ちゃんの駅」として登録するとともに、利用マップや表示用のタペストリー等を提供することにより広く周知を図り、乳幼児連れの保護者が安心して外出できる環境づくりを進める。
白河市	徳島大学と放射線に関する協定を締結し、徳島大学の協力を活用して、放射線専門家による放射線教育と健康教育。(市内保育園、幼稚園)	「すこやか相談会」保育園・幼稚園・認定こども園の4歳児を対象に、保護者の子育てに関する相談会を実施。相談会終了後も必要に応じて、「フォローアップ相談」を実施する。
須賀川市	・放射線個人線量測定事業 ・内部被ばく検査事業 ・屋内遊び場確保事業	○すくすく赤ちゃん応援事業 0歳から1歳児を養育する者に対し、子育てに必要なおむつ、粉ミルク等を購入時に利用できる「すくすく赤ちゃん応援券」を支給している。
喜多方市		
相馬市	・屋内遊び場運営事業 ・給食食材放射線量測定業務委託事業 ・ガラスバッジによる外部被ばく測定事業 ・ホールボディカウンターによる内部被ばく測定事業 ・震災孤児等支援事業 東日本大震災により親を亡くした孤児等に対し、生活支援金を支給するとともに、大学、専門学校等に進学した孤児等に生活費、教材費などを支援する資金を支給する。 ・心のケア事業 東日本大震災等被災による児童・生徒の「心のケア」をNPO法人相馬フォロアチームとの共同により実施する。 ・スクールソーシャルワーカー配置事業 学校と家庭及び関係機関が連携し問題解決に向けて行動できる連絡・仲介・調整を行うスクールソーシャルワーカーを配置する。	
二本松市	・屋内遊び場運営事業 ・幼稚園、保育園等給食食材放射線測定 ・放射線外部積算線量測定 ・放射線内部被ばく量測定 ・放射線学習会 ・放射線教育講話(保育所・幼稚園・小中学校)	・小中学校遠距離通学費助成 ・高等学校遠距離通学費助成 ・特別支援学校に就学する児童・生徒の保護者への手当支給 ・特別支援学校に就学する児童・生徒の保護者への通学費の助成 ・出産時交通費助成事業(H27年度から) ・元気な児童生徒育成支援事業(H27年度から) ・子育て応援メール(H28年度から) ・産後1か月健診助成事業(H28年度から)
田村市	平成23年3月11日に田村市都路町に住所を有する保護者で、市内保育所・こども園の保育料を無料(0歳児、1歳児、2歳児)	3月31日現在満3歳から満5歳までの児童を在宅で養育する保護者に対し、月額5,000円の子育て支援奨励金を支給
南相馬市	○市外避難をしている生後2か月までの母子に電話相談を実施。 ○乳幼児健診の時期に、避難先での受診の動向及び生活状況等のアンケートを郵送し、返信用封筒を同封することで、そのアンケートの回収をしている。アンケートに育児不安や相談したい項目の記載がある場合は、電話相談を実施している。 ○ガラスバッジによる外部被ばく測定 ○ホールボディカウンターやベータスキャンによる内部被ばく測定 ○広報誌やホームページにて放射線に関する情報を提供している。 ○乳幼児健診時、放射線健康調査係職員が健康教育を実施している	○認定こども園や小規模保育事業所等の無料化。私立幼稚園の無料化事業と同じように、年度末に保護者が負担した保育料を助成し実質無料化している。 ○母子健康推進員の養成講座を実施(フォローアップ含め全12回)。養成講座参加者が講座修了後、母子愛育会を結成しており、会独自で自主的に育児支援の自主活動を展開している。 ○独自休暇：近年の晩婚化や出産時の女性の年齢が上昇していることに伴い、不妊治療を受ける夫婦が増加していることから、仕事と不妊治療を両立できるよう不妊治療休暇を新設。 施行日：平成29年1月1日 ○南相馬市職員特定事業主行動計画に基づき、職員一人ひとりが職員としての仕事と子育てなど家庭を両立できるよう、ワーク・ライフ・バランスの推進に向けた取り組み。
伊達市	グループミーティングを取り入れた遊びの教室 屋内あそび場の開設(3か所)	
本宮市	・屋内遊び場(すまいるキッズパーク)の開設及び充実 ・ホールボディカウンターによる内部被ばく測定 ・ガラスバッジによる外部被ばく測定 ・給食食材放射線量測定	・つどいの広場事業 小学生未満の子どものための屋内遊び場の設置 ・ファミリー・サポート・センター事業(ままカフェ、ままカルチャー含む) ・ホームスタート事業
桑折町	①ガラスバッジによる外部被ばく測定 ②ホールボディカウンターによる内部被ばく測定 ③保育所・児童館や幼稚園、小中学校、各公民館、仮置き場等の放射線測定値を広報誌や町ホームページに掲載し、情報を提供している。 ④検査機器を購入して、保育所や幼稚園、小中学校の給食食材・全量の放射線濃度測定を行っている。また、町民も希望すれば食品を検査できる体制を整えている。	
国見町	外部被ばく、内部被ばく測定 屋内遊び場設置運営事業	就学遠征奨励金(1人3,000円の図書カード配付) 幼稚園通園費助成

市町村	2 2 東日本大震災及び原子力災害を受けて市町村が取り組んでいる子育て支援策	2 3 市町村が独自に取り組んでいる施策
川俣町	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園児、保育園児を対象に線量の低い地域へのバスハイキングの実施 ・ガラスバッチによる小学生以下児童の積算線量の測定。 ・屋内遊び場の設置運営 ・食育、食材モニタリングとホームページへの掲載 ・ホールボディカウンターによる内部被ばく検査 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校、中学校入学時に入学祝金5万円の支給。 ・小中学校給食費半額補助 ・チャイルドシートの無料貸し出し ・ひとり親家庭中学校卒業図書カード贈呈 ・子どもとみんなの広場（子育て親子の交流の場の提供、子育て相談等）
大玉村		
鏡石町	<ul style="list-style-type: none"> ・ガラスバッチによる外部被ばく測定 ・ホールボディカウンターによる内部被ばく測定 ・学校、保育所等の給食食材の放射性物質検査 ・のびのび健康相談（心理士による個別相談）の開催 	
天栄村		<ol style="list-style-type: none"> 1. チャイルドシート購入補助 2. 幼稚園入園料授業料の無料化 3. 幼稚園の3年保育 4. へき地保育所保育料の無料化 5. 多子世帯保育料の軽減
下郷町		
檜枝岐村		<p>○16歳～22歳までの就学生1人につき、月額5,000円の学資手当を支給している。 （類似の手当受給者は除く）</p>
只見町 南会津町		
北塩原村		<ul style="list-style-type: none"> ・子育て祝金…幼稚園入学時に5万円、小学校入学時に10万円、中学校入学時に15万円の補助をしている。 ・小中学校の路線バス…スクールワゴンの運用及び路線バスの定期券購入時の全額補助を行っている。 ・検定試験料の補助…英語検定試験、漢字検定試験等の試験料の補助。一人につき2回まで検定料の全額補助。 ・奨学金…高校から無利子で貸している。 ・特別支援児を持つ家庭及び要保護児童のいる家庭に対して、学用品、給食費、修学旅行費の一部を補助している。
西会津町		
磐梯町		
猪苗代町		
会津坂下町		<p>おむつ専用ゴミ袋の支給(151千円)、 ファミリー・サポート・センター事業、 通園バス無料運行、 通学バス定期券補助（無料）</p>
湯川村		<ul style="list-style-type: none"> ・小学校入学祝金（一律5万円） ・高等生冬期間通学支援金（村内に住所を有する高等学校等に通学する生徒の保護者に対し、生徒一人につき15,000円支給）
柳津町		チャイルドシート購入助成
三島町		
金山町		
昭和村		<p>乳児衛生用品支給事業 満1歳到達まで、月額3,500円を限度として粉ミルク、紙おむつ、おしりふきを支給。</p>
会津美里町	子どもの心のケア事業	
西郷村	<ul style="list-style-type: none"> 屋内遊び場運営事業 屋内遊び場を運営 	
泉崎村		小学校新1年生にランドセル贈与
中島村		
矢吹町	<ul style="list-style-type: none"> 屋内外運動場設置 親子あそびのひろば事業 	乳幼児健診に臨床心理士が心理相談員として配置している
棚倉町		<ul style="list-style-type: none"> ・すこやかあかちゃん応援券支給事業 <p>0歳から2歳未満児に対し、おむつ等の育児用品と引き換えができる助成券（月額2,500円）を支給</p>
矢祭町		
塙町		
鮫川村		<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児紙おむつ給付事業 <p>出生した月から満2歳到達の前の月まで月額5,000円を上限に保護者へ紙おむつ給付券を支給</p>
石川町		未就学児童を対象とした屋内遊び場の開設
玉川村	屋内遊び場設置	
平田村	平成24年1月から母親などの不安の軽減と運動ができる機会として、月1回親子ふれあい教室を実施している。	<ul style="list-style-type: none"> ・給食費の年額3分の1を補助（対象：こども園児、小・中学生） ・スクールバスの運行（対象：小・中学生） ・防犯ブザーの配付（対象：新入学児童）
浅川町		
古殿町		
三春町		
小野町	<ul style="list-style-type: none"> ・内部被ばく検査 ・学校給食放射性物質検査 	<p>妊産婦健診交通費助成、 18歳までの医療費の無料化のため小学1年から3年生までの医療費自己負担分を助成 幼児施設、小学生のリズム運動教室 幼児教育施設の歯科教室、2歳児フツ素塗布事業 親子交流事業 ・ 幼児教育施設臨床心理士巡回相談 ふるさと文化の館内・子どもの笑顔広場（遊び場開放）</p>

市町村	2 2 東日本大震災及び原子力災害を受けて市町村が取り組んでいる子育て支援策	2 3 市町村が独自に取り組んでいる施策
広野町	○東日本大震災の被災者に対し、町内保育所・幼稚園利用料全額免除。 また、避難先市町村の認可保育所及び認定こども園内保育所に通園している者に対して、保育所利用料の半額助成。 ○保育所・幼稚園・学校給食食材の放射性物質検査。 ○週3回広野町保健センターを開放し遊びの場の提供。 ○ホールボディカウンターによる内部被ばく線量検査。	
檜葉町		・檜葉町へ帰還する子育て世帯に対し、町営住宅への優先的な入居 ・児童福祉担当課と認定こども園内子育て支援センターの連携
富岡町	富岡町保育料保護者負担金助成制度	
川内村		・川内村高等学校生徒遠距離通学補助金交付(通学定期費もしくは下宿等に係る費用の助成。上限あり) ・子育て応援・用具購入費補助金交付(チャイルドシート等の購入費の1/2を助成。上限あり)
大熊町		
双葉町	・ママサロンの実施 ・保育料の助成	
浪江町	保育料助成 子育てサロンの開催	
葛尾村		
新地町		
飯館村	内部被ばく検査(WBC/甲状腺検査)の継続的な実施	役場職員に対する子育てのための独自休暇事業(パパクオーター制度) 中学生を対象に海外研修を実施